

田辺工業高等学校

実施日時	令和元年 12月 17日 (火)
参加者	生徒161名、教職員14名、地域住民等0名 計175名
実施内容	防災講演、ワークショップ（救急法、応急担架搬送、炊き出し訓練、救命救急）

ねらい

- 1、災害発生時に生徒達が自らの判断で迅速に避難し、対応できる力を身につけさせる。
また、共助の意識を高め地域に貢献できる防災リーダーの育成を目指す。

主なプログラム

1、防災講演

東日本大震災の災害現場の状況説明、救命救急や復旧活動の経験談、災害時の対処方法の紹介から救命救急の大切さを学んだ。



2、ワークショップ

1) 救急法

瓦礫除去に使用する機材について学んだ。



2) 応急担架搬送

被災者搬送時の担架使用法について学んだ。



3) 炊き出し訓練

アルファームを用いた炊き出し方法を学んだ。



4) 救命救急

災害時の心肺蘇生方法を学んだ。



概要

- 1、打ち合わせ 自衛隊（和歌山地方協力本部田辺地域事務所）と事前打ち合わせ
- 2、事前説明 生徒に向けてホームルームにて事前に内容説明と班分け
- 3、対象者 1学年生徒および1学年職員対象に防災スクールを実施

参加者感想文

- ・自衛隊の方から大震災の話聞いて、訓練などを通して準備が必要だと感じました。
- ・訓練で学んだ事を少しでも活かして、協力できるようになりたいと思った。
- ・東南海地震に備えて、意識しておくことが大切だと思った。

成果と課題

【成果】

今回の防災スクールは和歌山地方協力本部田辺地域事務所のご協力を得て開催することができた。防災スクールを通じて参加した生徒の真剣に取り組む姿を見ることができた。その様子から地域柄 地震や津波に対する意識が高いと思われ、今回の防災スクールは有意義なものであった。

【課題】

昨年の内容と少し異なる訓練を体験できるように工夫したが、更に簡易トイレや段ボール間仕切りなどテーマを増やし、より多くの内容を学ぶことができればより充実した内容の防災スクールとなり、実際の現場において活躍できる人材の育成に繋げる事が期待できる。